※令和３年度以前入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　新数学Ａ（東京書籍）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

２　学習の到達目標

「場合の数と確率」の分野における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、授業を通して、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるよう、またそれらを活用するようにがんばりましょう。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して、集合と論理、場合の数と確率における考え方や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、集合と論理、場合の数と確率における見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	集合と論理、場合の数と確率において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	集合と論理、場合の数と確率における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基本的な知識を身に付けている。
評価方法	提出物、授業態度、出席状況、定期考査等	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	場合の数	集合	○				a: 場合の数における考え方に関心を持ち，順列や組合せを用いて個数を数えることの有用性を認識し，事象を数学的に考察しようとする。 b:順列や組合せのなどの考え方を身につけ，具体的な事象についてそれらを用いて考察することができる。 c: 事象に応じて順列，組合せなどに帰着させ，正確に場合の数を求めることができる。 d: 順列や組合せに様々な条件がつく場合に，条件の処理の仕方を理解している。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		集合の要素の個数	○			○		
		順列	○	○				
		組合せ	○		○			
後期	確率	確率の意味	○	○			a: 確率の基本的な性質があることに気づき，これらを利用して確率を求めようとする。 b: 確率の基本性質を導く過程を考察することができる。 c: 場合の数を求め，それを用いて確率を考えることができる。 d: 確率の基本性質を理解し活用する知識を身につけている。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		確率の計算		○	○	○		
		独立な試行の確率		○	○			
		反復試行の確率		○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。